



県庁ってどんなことしてるの？

私たちのくらしと栃木県政

まんが漫画で分かる!

どのような流れで

仕事が行われているんだろう？

AIなど最先端技術の高度化等により到来する、新たな社会Society5.0。この時代の変化に対応できる人材を育成するため、県がどう取り組んでいるかを例に、県政の動きをご紹介します。

新たな社会Society5.0の到来は、私たちに豊かさをもたらすとともに暮らしや働き方を変える…栃木県が時代に取り残されないように、何か対策を打たなくては！

未来を担う子どもたちには、ICTを使いこなして、新時代に対応し、たくましく生きていく能力が必要なのでは…？

おや。国も本格的に計画を立てたみたいだ…

文科省「GIGA スクール構想」提唱

教育のICT化に向け「1人1台の端末普及」「高速大容量の通信環境整備」など多様な子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現を目指します。

新聞

おや。国も本格的に計画を立てたみたいだ…

よし！県でも、目指す将来像に向けて計画を立てよう！

今後5年間に県が取り組む施策の進め方を示す県政の基本指針

とちぎ未来創造プラン

とちぎの未来を担う人材育成プロジェクト

- ✓新たな時代に対応した学びの推進と学校指導体制の整備
- ✓デジタル化に対応した資質・能力の育成

： (一部)

プランを実行するために、具体的にどんなことができるだろう…事業案を考えてみよう！

市町を通じて、小中学校の児童生徒には1人1台のパソコンかタブレットが配備されたね！

高校でも設備が進んできているし、県庁内に学校教育の情報化をより一層推進するためのチームを作ってはどうか…

市町間で教育格差が出ないように、県としてもしっかり取り組んでいかないとね

学校の先生向けの研修の実施など、教師のサポートも必要だね

ここまでのおさらい ① 課題の把握と検討

県では5年ごとに策定しているプランに基づいて、事業を行っています。事業の実施に当たって、まず本県の現状を分析し、課題を把握、そしてその課題を解決するために、県として何ができるかを検討します。

県民みんなのために何ができるか考えるま〜

知事！新しい事業案について説明します！

県庁内に新チームを立ち上げ、市町と連携して学校教育の情報化をより推進していきます！特に県立学校では「ICT支援員配置事業」により、民間企業と連携して学校にICT支援員を配置し、機器の設置や教師向けの研修などを積極的に実施します！

県議会議事堂

知事からの指摘を受け、まとめた事業案を議会へ

ここまでのおさらい ② 事業案の知事査定

事業をより効果的に実施するため、内容をよく吟味し、お金(予算)がどれくらい必要かを、県の財政状況を踏まえて検討の上、事業の目的や内容、予算額などを知事に説明して意見をもらいます。こうして検討を重ねた事業案(予算案)を、議会に提出します。

事業の内容をよく検討するま〜

とても良い案だけど、この部分はこうした方がもっと良くなるのでは…栃木県の場合は、こちらのやりの方がより効果的だ…

知事

たしかに そうだなあ…

メモ

メモ

〇〇事業案

議会

県のお金(予算)の使い方が適切かどうか、判断します

これは具体的には何をやるの？

本当に効果はあるの？

これは継続的に行っていくべきだね

(議会の役割やしきみについては2面へ)

議会の議決を経て、使えるお金の額が決まります

ICT支援員配置事業費 95,040,000円 ※令和3年度当初予算額

いよいよ事業を行っていきます

栃木県の子どもたち 待っててくれ〜！

ここまでのおさらい ③ 議決を経て事業実施

県民から選挙で選ばれた県議会議員が、どのようなお金(予算)の使い方をすればよいかなどを議論します。議会で議決されることで、予算額が決定し、事業を実施することができるのです。

議会で議決されたら いよいよ事業実施ま〜！

実際にこんなしくみで動いています！

もっと詳しく▶

県の役割

日本全体のしくみに関するものを行う国に対し、県は市町の区域を越える県全体にわたる仕事をしています。また、県・市町間の連絡調整や、県による実施がより効果的な仕事を市町や企業と連携しながら進めています。

県の組織

県の仕事を進めるため、知事の下に副知事2名を置き、10の部局と企業局、行政委員会を設置。各部局等で分担して仕事をしています。職種は、行政のほか農業、総合土木、林業、保健師などさまざま。計23,584名(教職員、警察官等を含む)の職員が幅広い分野で業務に当たっています。(R3.4.1時点)

